

日本国際連合学会会員の皆さま

『国連研究』第 22 号（2021 年 6 月刊行予定）の原稿を下記の要領で募集いたします。奮ってご応募ください。

**I. 募集する原稿の種類：特集論文、政策レビュー、独立論文、書評論文、書評**

**1) 特集論文**

第 22 号のテーマ：「持続可能な開発目標と国連－SDGs の進捗と課題」（仮）

（趣旨説明）

「誰一人取り残さない（Leave no one behind）」をスローガンに、「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」は 2015 年 9 月に国連サミットで採択された。2015 年は、気候変動に関するパリ協定が採択された年でもある。地球規模の諸問題を解決するために多国間主義は有益だと機運が高まり、多様な行為主体（アクター）が連携するために、国連は重要な役割を有していることが明確に打ち出された。

「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals: SDGs）」は地球規模の課題を解決するために包摂的な行動をとるといふ国際社会の決意であり、掲げられた 17 の目標は途上国の問題のみならず先進国が抱える問題に対しても目を向け、それぞれが取り組むべき行動が盛り込まれた。

目標設定から 5 年目にあたる本年、『国連研究』第 22 号は、「持続可能な開発目標と国連－SDGs の進捗と課題」（仮）を特集テーマに据えて、SDGs 達成のための国際社会の努力と成果、今後の課題について議論する場としたい。SDGs 達成に向けて努力を続ける国際社会の動態を探り、多様なアクターと協働する国連という組織の機能と目標達成のための今後の課題について検討する号としたい。

昨年公表され、今後 4 年に一度作成される「持続可能な開発に関するグローバル・レポート」は科学的見地から世界の状況と今後の開発への実践的な提言を提供するとともに、重要なメッセージとして、「2030 アジェンダの真の可能性は、コベネフィット（共通益）を最大化し、トレードオフを特定・管理する、体系的なアプローチを通じて実現できる」ものとして、国際社会の多様なステークホルダーによる集団的・全体的なアプローチの必要性を強調している。また、今後、多くのステークホルダーが集中的に共同行動を実施することにより、目標を加速させることができる 6 つの「エントリーポイント」として、①人間の福祉と能力の強化、②持続可能で公正な経済への移行、③持続可能な食料システムと健康的な栄養パターンの構築、④エネルギーの脱炭素化とエネルギーへの普遍的アクセスの達成、⑤持続可能な都市及び都市周辺部の開発の促進、⑥地球環境コモンズの確保、を特定し、各国政府や政策立案者に対してこれらのポイントに十分に留意するよう呼びかけた。さらに、目標を実現させるためのイニシアティブとして政治的な意志の重要性にも言及している。

現在、世界的な脅威となっている新型コロナウイルスによる感染症の拡大は、ヒト・モノ・カネ・サービスの動きを停滞させ、世界経済にも深刻なダメージを与えている。国際社会は加速度的に進展するグローバル化の負の側面と戦っているとよい。この感染が SDGs の実現に暗い影を落とすことが懸念される。さらに、主権、覇権をめぐる大国間の対立、大国と中小国間の対立という障害も存在する。SDGs 達成のためには、国際機構、国家、非政府機関（NGO）や企業などのアクター間のさらなる連携も不可欠であるし、連携と資源を調整する機能の充実も急がれている。国連システムにおける既存の枠組みの転換も必要であろう。

第 22 号では、国際開発からの考察はもちろんのこと、制度論、公共政策からの分析、国際法からの検討など、各分野の研究者からの論考を募集する。また、SDGs の各目標達成のための具体的な政策提言など、実務家による現場からの声もぜひ届けていただきたい。

## 2) 政策レビュー

『国連研究』では、実務家の方々等による現場の目を通した論考も掲載しています。国連における、また国連に対する政策レビューや提言などをお寄せください。

## 3) 独立論文

特集テーマとかかわらない書下ろしの論考は「独立論文」として投稿を受け付けています。

## 4) 書評論文

国連研究ならびに広く国際関係研究に貢献をしたと評価できる関連する複数の編著書（和文・欧文）を紹介・批評し、議論を展開する論考です。

## 5) 書評

一冊の編著書（和文・欧文）が国連研究ならびに広く国際関係研究にどのような貢献をしたかについて紹介・批評するものです。原則として過去2年以内に出版された学術書を対象とします。

## II. 応募方法と締め切り

各種論文のタイトルと趣旨を800字程度にまとめ、2020年8月2日（日）までに下記のアドレスまで電子メールでお送りください。また、書評執筆の申し込みまたは書評対象候補の推薦については、2020年7月31日（金）までをお願いいたします。

法政大学 本多美樹（『国連研究』編集主任）

E-mail: mikih@m8.dion.ne.jp

## III. 採否

応募いただいた論文のタイトルと趣旨について、また、書評に関する執筆申し込みと書評対象書の推薦について検討し、編集委員会が「執筆」の可否を決定してご連絡いたします。「執筆可」の場合には、原稿をご執筆いただき、11月20日（金）までに完成原稿を提出して頂きます。提出原稿は、編集委員会が依頼する二名による査読を経たのち、修正が必要な場合は修正をお願いしたうえで、最終的な「掲載の可否」を決定いたします。

## IV. 応募ならびに完成原稿の提出の締め切り日

- ・ 書評の執筆申し込みと対象文献の推薦：2020年7月31日（金）
- ・ 各種論文の応募（タイトルおよび趣旨）：2020年8月2日（日）
- ・ 完成原稿の提出：2020年11月20日（金）

## V. 執筆要領・編集要領について

執筆要領ならびに編集要領は学会ホームページに掲載されていますのでご覧ください。